

「海外視察に行きませんか。1980年ごろ、建築資材のほか水回り設備も扱ったりやまと(新潟市中央区)は、当時の通産省に勧められ、ドイツで開かれたシステムキッチンの見本市を訪れた。

## にいがたの老舗 100年の系譜

帰り道に立ち寄ったフランスの建材見本市で、同社の戸川正昭社長(65)は光線で水平を測定する「レーザーレベル」に着目、販売用に購入を決めた。「何事も自力でやる」がモットー。商社を通さず、外国為替の決済もこなした。

### 塗りを極める いりやまと (新潟市中央区) ③

# 自信深めた海外取引

サンデー経済

測定器は高価で思うように売れなかったが、自社の下水管敷設工事やリース用として活用。その後もドイツで測定器を買い付けたりカナタから材木を任入れた



米国で受注した個人住宅の壁塗り作業。現地の職人に技術指導も行った。2006年、米コネチカット州

## 職人の技で評価を受ける



「工事でも社会的システムでも日本より合理的な部分が多く、目を見開かされた」と戸川社長。米国でコンビ

なつた原点は、戸川社長の米国体験だ。70年ごろ、半

巡り、ニューヨーク(NY)では世界貿易センタービル

の建設現場などを視察し

た。

「工事も社会的システムでも日本より合理的な部分が多く、目を見開かされた」と戸川社長。米国でコンビ

なつた原点は、戸川社長の米国体験だ。70年ごろ、半

巡り、ニューヨーク(NY)では世界貿易センタービル

の建設現場などを視察し

た。

「工事も社会的システムでも日本より合理的な部分が多く、目を見開かされた」と戸川社長。米国でコンビ

なつた原点は、戸川社長の米国体験だ。70年ごろ、半

巡り、ニューヨーク(NY)では世界貿易センタービル

の建設現場などを視察し

た。

「文化の違う相手と対話し、人格を尊重し合いながら仕事を進めた。従業員がグローバルスタンダードを肌身で感じたことが、何よりの財産になった。」戸川社長は笑顔で語る。

素を取り入れ、上質な土壁である「聚楽壁」を要望した。仕上がりサンプルな

いりやまとが輸入し、自社使用のほか販売・リースしている水

平測定器

どで技術をアピールし、アイルランドの業者との受注競争に勝った。

一気に10人の職人を送り込み、仕事に掛かった。米国が輸入を禁じる素材が含まれていたため、壁材料を作り直すなどのアクシデン

トもあったが、1カ月の工期は瞬く間に過ぎた。

塗り仕上げをした壁の面積は約1500平方メートル。内では「旅館でもまず注文がない」(同社) 広さだった。じっくりと高級な壁塗りに臨んだ職人たちは、存分に腕を振るい、喜んだ。

「文化の違う相手と対話し、人格を尊重し合いながら仕事を進めた。従業員がグローバルスタンダードを肌身で感じたことが、何よりの財産になった。」戸川社長は笑顔で語る。

素を取り入れ、上質な土壁である「聚楽壁」を要望した。仕上がりサンプルな

いりやまとが輸入し、自社使用のほか販売・リースしている水

平測定器